

サル痘患者の発生について

都内の医療機関を受診していた以下の方について、検査の結果、サル痘の陽性が確定しました。

なお、報道機関各位におかれましては、御本人やご家族などが特定されないよう、個人情報保護にご配慮下さい。医療機関への取材や直接のお問い合わせはお控えください。

【患者の概要】 12名（うち都内居住者11名、都外居住者1名）

No.	年代	性別	症状	医療機関 受診日	居住自治体 (居住地)	海外 渡航歴	その他
1	20代	男性	発熱、発疹、 咽頭痛、倦怠 感、リンパ節 腫脹	3月24日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
2	40代	男性	発熱、発疹、 リンパ節腫脹	3月24日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
3	40代	男性	発熱、発疹	3月24日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
4	30代	男性	発熱、その他 皮膚病変	3月27日	都外	なし	・患者の状態は安定している。
5	30代	男性	発熱、発疹、 肛門直腸痛	3月27日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
6	10代	男性	発熱、発疹、 咽頭痛、リン パ節腫脹、肛 門直腸痛	3月27日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
7	40代	男性	発疹、発熱、 頭痛	3月28日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
8	20代	男性	発疹、咽頭痛 肛門直腸痛	3月28日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
9	40代	男性	発疹	3月28日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
10	40代	男性	発疹、頭痛	3月19日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。
11	40代	男性	発熱、発疹	3月28日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。

No.	年代	性別	症状	医療機関 受診日	居住自治体 (居住地)	海外 渡航歴	その他
12	40代	男性	発疹	3月29日	東京都	なし	・患者の状態は安定している。

【サル痘とは】

- ・ サル痘は、サル痘ウイルスによる感染症で、中央アフリカから西アフリカにかけて流行しています。日本では感染症法上の四類感染症に指定されています。
また、2022年5月以降、欧州や米国等で市中感染の拡大が確認されています。
- ・ サル痘の潜伏期間は6～13日（最大5～21日）とされており、潜伏期間の後、発熱、頭痛、リンパ節腫脹、筋肉痛などの症状が0～5日続き、発熱1～3日後に発疹が出現、発症から2～4週間で治癒するとされています。
- ・ サル痘の流行地では、げっ歯類やサル・ウサギなどの動物との接触や、感染が疑われる人の飛沫・体液等を避ける、手指衛生を行うなど、感染予防対策を心がけ、感染が疑われる場合には、直ちに医師の診察を受けてください。